

監事監査

1. 社会福祉法人山陵会 監事監査

- ・開催日 平成 27 年 5 月 14 日 木曜日
- ・実施場所 フラワーホーム多目的室
- ・出席監事 定数 2 人
監 事：藏園輝美、斎藤士郎
- ・本部出席 理 事：徳永正義、徳永清美
- ・事務局 園 長：瀬戸口司
事務長：中山雅徳
課 長：丸山豊美（補助員：吉松香織）
- ・監査項目 社会福祉施設監事監査調書より
※法人経営
※法人事業
※法人管理
※施設運営・施設サービス
※施設会計処理共通
※施設会計処理（特養固有）以上、564 項目

（第 1 回）社会福祉法人 山陵会（評議員会）役員会

- 1：開催日時 平成 28 年 5 月 20 日（金） 午後 2 時～午後 3 時 35 分
- 2：場 所 フラワーホーム多目的室
- 3：評議員の定数及び出席者席者
評議員の定数 13 人
出席評議員 11 人
出席評議員 徳永正義・徳重悦子・瀬戸口司・外山雅利・加来宗暁・徳永映子
徳永清美・秋月啓子・黒岩尚文・藤井宏一・植木春生
欠席評議員 2 人
欠席評議員 末重良規・田島健夫
- 4：議 題
第 1 号議案 平成 27 年度 事業報告について
第 2 号議案 平成 27 年度 社会福祉法人山陵会 決算書等について
（監事監査報告）
第 3 号議案 平成 28 年度 第 1 次収支補正予算(案) 社会福祉事業区分について
（熊本地震及びそれに伴う災害に対する義援金の取扱）
第 4 号議案 平成 27 年度指導監査結果報告について
第 5 号議案 特別養護老人ホームフラワーホーム診療所新設について
第 6 号議案 その他について

（第 2 回）社会福祉法人 山陵会（評議員会）役員会

1：開催日時 平成 29 年 1 月 20 日（金） 午後 2 時～午後 3 時 40 分

2：場 所 フラワーホーム多目的室

3：評議員の定数及び出席者席者

評議員の定数 13 人

出席評議員 11 人

出席評議員 徳永正義・徳重悦子・瀬戸口司・外山雅利・加来宗暁・徳永映子
徳永清美・秋月啓子・黒岩尚文・藤井宏一・末重良規

欠席評議員 2 人

欠席評議員 植木春生 田島健夫

4：議 題

第 1 号議案 夜間宿直員の設置及び服務に関する規程の一部変更について

第 2 号議案 社会福祉法人山陵会 印章規程の一部変更について

第 3 号議案 育児・介護休業等に関する規則の一部変更について

第 4 号議案 社会福祉法人山陵会 就業規則の一部変更について

第 5 号議案 平成 28 年度 第 2 次収支補正予算(案)社会福祉事業区分
及び第 1 次収支補正予算(案)公益事業区分について

第 6 号議案 平成 27 年度指導監査結果報告について

第 7 号議案 社会福祉法人制度改革について

第 8 号議案 社会福祉法人山陵会 定款変更について

第 9 号議案 社会福祉法人山陵会 評議員選任・解任委員会について

第 10 号議案 社会福祉法人山陵会 評議員候補者の選任について

第 11 号議案 社会福祉法人山陵会 役員会旅費規則の一部変更について

第 12 号議案 不動産購入（土地・建物）について

第 13 号議案 介護予防・日常生活支援総合事業の取組について

第 14 号議案 その他について

（第 3 回）社会福祉法人 山陵会（評議員会）役員会

1：開催日時 平成 29 年 3 月 30 日（木） 午後 2 時～午後 3 時 40 分

2：評議員の定数及び出席者席者

評議員の定数 13 人

出席評議員 10 人

出席評議員 徳永正義・植木春生・瀬戸口司・藤井宏一・加来宗暁・徳永映子
徳永清美・秋月啓子・黒岩尚文・末重良規

欠席評議員 3 人

欠席評議員 徳重悦子・外山雅利・田島健夫

3：議 題

第 1 号議案 平成 28 年度 第 3 次収支補正予算(案)社会福祉事業区分について

第 2 号議案 平成 28 年度 第 2 次収支補正予算(案)公益事業区分について

第 3 号議案 平成 29 年度事業計画(案)について

- 第 4 号議案 平成 29 年度社会福祉事業区分当初予算(案)について
- 第 5 号議案 平成 29 年度公益事業区分当初予算(案)について
- 第 6 号議案 施設長の任期更新について
- 第 7 号議案 評議員選任・解任委員会の開催(報告)について
- 第 8 号議案 介護予防・日常生活支援総合事業及び一般介護予防事業「元気塾」について
- 第 9 号議案 社会福祉法人山陵会 職員給与規定の一部変更について
- 第 10 号議案 その他について

(第 1 回) 社会福祉法人 山陵会 (理事・監事会) 役員会

- 1:開催日時 平成 28 年 5 月 20 日 (金) 午後 4 時～午後 5 時 20 分
- 2:場 所 フラワーホーム多目的室
- 3:理事の定数及び出席者席者
 - 理事の定数 6 人
 - 出席理事 5 人
 - 欠席理事 1 人
 - 出席理事 徳永正義・竹内初夫・加来宗暁・徳永清美・黒岩尚文
 - 欠席理事 末重良規

4:監事の定数及び出席者

- 監事の定数 2 人
- 出席監事 2 人
- 出席監事 藏園輝美・斎藤士郎

5:議 題

- 第 1 号議案 平成 27 年度 事業報告について
- 第 2 号議案 平成 27 年度 社会福祉法人山陵会 決算書等について
(監事監査報告)
- 第 3 号議案 平成 28 年度 第 1 次収支補正予算(案)社会福祉事業区分について
(熊本地震及びそれに伴う災害に対する義援金の取扱)
- 第 4 号議案 平成 27 年度指導監査結果報告について
- 第 5 号議案 特別養護老人ホームフラワーホーム診療所新設について
- 第 6 号議案 その他について

(第 2 回) 社会福祉法人 山陵会 (理事・監事会) 役員会

- 1:開催日時 平成 29 年 1 月 20 日 (金) 午後 4 時～午後 5 時 30 分
- 2:場 所 フラワーホーム多目的室
- 3:理事の定数及び出席者席者
 - 理事の定数 6 人
 - 出席理事 6 人

欠席理事 0人

出席理事 徳永正義・瀬戸口司・加来宗暁・徳永清美・黒岩尚文・末重良規

4：監事の定数及び出席者

監事の定数 2人

出席監事 2人

欠席監事 0人

出席監事 藏園輝美・斎藤士郎

5：議 題

第1号議案 夜間宿直員の設置及び服務に関する規程の一部変更について

第2号議案 社会福祉法人山陵会 印章規程の一部変更について

第3号議案 育児・介護休業等に関する規則の一部変更について

第4号議案 社会福祉法人山陵会 就業規則の一部変更について

第5号議案 平成28年度 第2次収支補正予算(案)社会福祉事業区分について

第6号議案 平成27年度指導監査結果報告について

第7号議案 社会福祉法人制度改革について

第8号議案 社会福祉法人山陵会 定款変更について

第9号議案 社会福祉法人山陵会 評議員選任・解任委員会について

第10号議案 社会福祉法人山陵会 評議員候補者の選任について

第11号議案 社会福祉法人山陵会 役員会旅費規則の一部変更について

第12号議案 不動産購入(土地・建物)について

第13号議案 介護予防・日常生活支援総合事業の取組について

第14号議案 その他について

(第3回) 社会福祉法人 山陵会 (理事・監事会) 役員会

1：開催日時 平成29年3月30日(木) 午後4時～午後5時20分

2：場 所 フラワーホーム多目的室

3：理事の定数及び出席者席者

理事の定数 6人

出席理事 6人

欠席理事 0人

出席理事 徳永正義・瀬戸口司・加来宗暁・徳永清美・黒岩尚文・末重良規

4：監事の定数及び出席者

監事の定数 2人

出席監事 1人

欠席監事 1人

出席監事 斎藤士郎

欠席監事 藏園輝美

5：議 題

第1号議案 平成28年度 第3次収支補正予算(案)社会福祉事業区分について

- 第 2 号議案 平成 28 年度 第 2 次収支補正予算(案)公益事業区分について
- 第 3 号議案 平成 29 年度事業計画(案)について
- 第 4 号議案 平成 29 年度社会福祉事業区分当初予算(案)について
- 第 5 号議案 平成 29 年度公益事業区分当初予算(案)について
- 第 6 号議案 施設長の任期更新について
- 第 7 号議案 評議員選任・解任委員会の開催(報告)について
- 第 8 号議案 介護予防・日常生活支援総合事業及び一般介護予防事業「元気塾」について
- 第 9 号議案 社会福祉法人山陵会 職員給与規定の一部変更について
- 第 10 号議案 その他について

平成 28 年度 事業報告

介護老人福祉施設 フラワーホーム

【総合的な目標の総括】

職員は利用者や家族が安心できるような介護を提供するために常に誠意を持って接するように心がけた。誕生日には家族を招いて一緒にお祝いをしたり、時には外食に出かけたりもした。冬場は感染症対策にも力を入れ、インフルエンザ、嘔吐下痢が流行することもなく一定の条件下で家族の面会も継続できた。

地域貢献としては、一部門で取り組めることは少なかったが地域の一斉美化作業への参加、介護予防・認知症予防の講座への職員派遣などできる範囲で行った。

【利用者ケア・職員教育・人材確保】

利用者への介護が職員中心となりがちで、少しでも利用者の生活が暮らしやすいものとなるように話し合いを重ねた。まずは、一日の始まりである起床時間に着目し、極端に早すぎる起床や体力的に長時間の離床が負担である利用者の起床時間を改善した。また、自宅に戻ったり、墓参り支援やお出かけ支援も個別に行い、利用者・家族に喜んでもらった。職員教育については、ケア会議や職員研修会の中で権利擁護やノーマリフト、感染症対策などの勉強会を行い、質の向上を目指した。

【収益的活動】

多床室の年間ベッド稼働率は 99.5%、ショートステイのベッド稼働率 85.7%といずれも当初の目標を達成した。また、職員数の確保と専門職の配置により、日常生活継続支援加算、看護体制加算、夜勤職員配置加算、障害者生活支援体制加算、経口維持加算、栄養マネジメント加算などといった加算も算定し収入に結び付けられた。

【支出的活動】

支出的活動としては、事務費を前年度に比べ削減した。これは、排泄用品の見直しや介護用品の購入を慎重に検討した結果です。

【地域貢献活動】

地域貢献活動としては、あまり多くの活動はできなかった。その中で、町内一斉美化作業では地域住民と一緒に周辺の美化作業を行い、地域住民の墓参り支援を 1 件実施した。地域住民向けの介護予防教室ではリハスタッフが体操を指導もした。

平成 28 年度 事業報告

介護老人福祉施設 フラワーホームユニット

【総合的な目標の総括】

これまでの暮らしぶりを大切に考え、個別な関わりを目指して介護を提供した。また、9月に行われた全国の集い in 鹿児島という大会では『特養ユニットでの調理～入居者と共に歩みたい～』と題した実践発表を行いフォローアップ賞に輝き、今後の更なる発展や向上を期待された。

地域貢献としては1年を通してユニットカフェを実施し、地域住民の居場所作り、交流の場を提供した。参加者にアンケートも実施し、今後はよりニーズに即した会となるように努力していく。

【利用者ケア・職員教育・人材確保】

利用者、家族、職員とより良い関係を築くために話しをする機会を多く持つことを考え、ユニットカフェに家族に参加してもらうことで交流することができた。作りもんそ会というユニット間を超えた活動を行っており、利用者と一緒に季節のお菓子や料理を一緒に作り一緒に食べる活動を行った。利用者もよい刺激になっており、笑顔で楽しんでいるようだった。職員教育については、ケア会議や職員研修会で勉強会を行い、質の向上を目指した。

【収益的活動】

年間ベッド稼働率は99.5%と目標を達成した。また、職員の充実や専門職の配置により、日常生活継続支援加算、看護体制加算、夜勤職員配置加算、経口維持加算、栄養マネジメント加算などの各種加算も算定し収入に結びつけた。しかし、当初予算計上していた障害者生活継続支援体制加算は、算定要件の厳しさもあり算定できず減収となった。

【支出的活動】

事務費については、昨年度よりも削減できた。介護用品費についても排泄用品を見直し削減できた。ユニットにおいては自施設職員による調理となっており、食材料費の管理も気を配った。また、隠居長屋ろんちにできた100円店の食材も積極的に活用し地産地消も心がけた。

【地域貢献活動】

毎月、ユニットカフェというカフェ活動を実施し、地域住民との交流を図った。カフェには毎回20名程度の住民が参加しており、認知症サポーター養成講座や防災講座、手芸活動などを行い地域住民の集いの場としての役割を果たしました。

平成28年度 月別介護度別利用実績一覧表

特別養護老人ホームフラワーホーム

延べ利用者数

単位 : 人

	要支援 1	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	合計
4 月	0	0	0	0	0	534	965	1499
5 月	0	0	0	0	0	540	996	1536
6 月	0	0	0	0	0	536	953	1489
7 月	0	0	0	0	0	527	1023	1550
8 月	0	0	0	0	0	526	1023	1549
9 月	0	0	0	0	0	510	983	1493
10 月	0	0	0	0	0	531	1013	1544
11 月	0	0	0	0	0	540	960	1500
12 月	0	0	0	0	0	589	949	1538
1 月	0	0	0	0	0	582	947	1529
2 月	0	0	0	0	0	522	875	1397
3 月	0	0	0	0	0	589	963	1552
合計	0	0	0	0	0	6526	11650	18176

実利用者数

単位 : 人

	要支援 1	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	合計
4 月	0	0	0	0	0	18	32	50
5 月	0	0	0	0	0	17	33	50
6 月	0	0	0	0	0	18	32	50
7 月	0	0	0	0	0	17	33	50
8 月	0	0	0	0	0	17	33	50
9 月	0	0	0	0	0	17	33	50
10 月	0	0	0	0	0	18	32	50
11 月	0	0	0	0	0	19	31	50
12 月	0	0	0	0	0	19	31	50
1 月	0	0	0	0	0	18	32	50
2 月	0	0	0	0	0	19	31	50
3 月	0	0	0	0	0	19	31	50
合計	0	0	0	0	0	216	384	600

平成28年度 月別介護度別利用実績一覧表

特別養護老人ホームフラワーホームユニット

延べ利用者数

単位 : 人

	要支援 1	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	合計
4 月	0	0	0	0	150	315	435	900
5 月	0	0	0	0	155	310	462	927
6 月	0	0	0	0	201	270	428	899
7 月	0	0	0	0	248	265	406	919
8 月	0	0	0	0	247	310	372	929
9 月	0	0	0	0	240	300	360	900
10 月	0	0	0	0	225	331	362	918
11 月	0	0	0	0	120	436	340	896
12 月	0	0	0	0	124	465	341	930
1 月	0	0	0	0	178	434	317	929
2 月	0	0	0	0	140	417	274	831
3 月	0	0	0	0	204	434	288	926
合計	0	0	0	0	2232	4287	4385	10904

実利用者数

単位 : 人

	要支援 1	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	合計
4 月	0	0	0	0	5	10	15	30
5 月	0	0	0	0	5	10	15	30
6 月	0	0	0	0	6	9	15	30
7 月	0	0	0	0	8	8	14	30
8 月	0	0	0	0	8	10	12	30
9 月	0	0	0	0	8	10	12	30
10 月	0	0	0	0	8	10	12	30
11 月	0	0	0	0	4	14	12	30
12 月	0	0	0	0	4	15	11	30
1 月	0	0	0	0	5	14	11	30
2 月	0	0	0	0	5	15	10	30
3 月	0	0	0	0	6	14	10	30
合計	0	0	0	0	72	139	149	360

平成28年度 行事及び研修実績表

特別養護老人ホームフラワーホーム
特別養護老人ホームフラワーホームユニット

月	日	行事	内部研修	外部研修	来園者
4	6	開園記念日			
	15		高齢者福祉研究会		
	19	総合避難訓練	作業療法の役割と実践		
	25				
5	17	地震想定避難訓練			
	18	ユニットカフェ			
	25	チャレンジデー	熊本地震による被災施設を支援して		
	26	法要法話			加来先生
	29			全国の集い 霧島プレ大会	
6	1			経営マネジメント研修	
	14	陵南小2年生 社会見学		チームケア研修	陵南小2年生
	17	火災想定避難訓練			
	20	龍桜高校看護科実習			実習生10名
	23	法要法話			藤谷先生
	24		食中毒について		
	26	家族交流会			藤谷先生
	29	法要法話			
7	2	竹子みどりの少年団交流			竹子みどりの少年団
	5	陵南幼稚園七夕交流			陵南幼稚園児
	11	龍桜高校福祉科実習			実習生4名
	15		高齢者福祉研究会		
	20	ユニットカフェ			
	25		介護記録の書き方について		
	26	法要法話			加来先生
8	2			ファーストステップ研修	
	9	夜間集合訓練			
	17	永山こうじ 慰問			
	19	ユニットカフェ		介護過程と権利擁護	
	22	火災想定避難訓練			
	23	法要法話			藤谷先生
	25	仁心看護学校実習		介護技術専門研修	実習生10名
9	29	加治木看護学校実習	事例発表会		実習生9名
	8	ユニットカフェ			
	14	龍桜高校福祉科実習			実習生4名
	16	介護相談員			介護相談員2名
	17	敬老祝賀会			
	18			全国の集いin鹿児島	
	21	法要法話			加来先生
10	23		高齢者虐待防止について		
	29	火災想定避難訓練			
	5			ファーストステップ研修	
	7	沖縄民謡ボランティア			
	18			介護技術研修	
	19	ユニットカフェ			
	24	シンポート初任者実習	認知症ケアについて	医療的ケア研修	実習生2名
11	25	法要法話			藤谷先生
	28	火災想定避難訓練			
	1	老人福祉法指導監査			
	5	ほぜ祭り			
	8			ファーストステップ研修	
	15	ユニット指導監査			加来先生
	22	法要法話			
11	25		ノーリフトについて		

	30	火災想定避難訓練			
12	6	琉球民謡ボランティア		ファーストステップ研修 権利擁護推進員研修	藤谷先生
	8				
	12				
	13				
	18				
	20				
	21	法要法話・防災訓練 ユニットカフェ			
	26		権利擁護について		
1	12	ユニットカフェ	認知症サポーター養成講座	ファーストステップ研修 アクティビティと生活リハ	加来先生
	13				
	17				
	18				
	20				
	24				
	25	法要法話	高齢者福祉研究会		
	31	火災想定避難訓練	ティーチングとコーチング		
2	2	介護相談員	施設での看取り		介護相談員2名
	15	ユニットカフェ			
	23	火災想定避難訓練			
	24				
3	15	ユニットカフェ	事例発表会		龍桜高校生15名 加来先生
	18	龍桜高校清掃ボランティア			
	21	法要法話			
	22	火災想定避難訓練			
	24				
	28	馬踊り来園			馬踊り連

平成 28 年度 統計資料及び添付資料

< 1 > 利用者の出身市町村別、年齢別の状況

(平成 29 年 3 月 31 日現在の住所地)

年齢 出身地	性 別	65 歳 ～ 69 歳	70 歳 ～ 74 歳	75 歳 ～ 79 歳	80 歳 ～ 84 歳	85 歳 ～ 89 歳	90 歳 ～ 94 歳	95 歳 ～ 99 歳	100 歳 以上	計	合計
溝辺町	男	0	0	0	2	3	2	1	0	8	48
	女	2	0	4	8	11	10	4	1	40	
国分市	男	0	0	0	1	1	1	0	0	3	5
	女	0	0	0	0	1	1	0	0	2	
隼人町	男	0	0	0	0	3	1	0	0	4	13
	女	0	0	1	2	2	2	2	0	9	
横川町	男	0	0	1	0	0	0	0	0	1	3
	女	0	0	0	1	0	1	0	0	2	
霧島町	男	0	0	0	1	0	0	0	0	1	2
	女	0	0	0	0	1	0	0	0	1	
牧園町	女	0	0	0	0	0	1	0	0	1	1
福山町	女	0	0	0	0	1	0	0	0	1	1
姶良市	男	0	0	1	0	0	0	0	0	1	4
	女	0	0	0	0	1	1	0	1	3	
鹿児島市	女	0	0	0	1	0	0	0	0	1	1
伊佐市	女	0	0	0	0	0	1	0	0	1	1
龍郷町	男	0	0	0	1	0	0	0	0	1	1
計		2	0	7	17	24	21	7	2	80	
平均年齢		87.3 歳		最高年齢		103 歳 5 月		最少年齢		68 歳 0 月	
男 性		86.2 歳		男 性		97 歳 0 月		男 性		75 歳 8 月	
女 性		87.6 歳		女 性		103 歳 5 月		女 性		68 歳 0 月	

＜２＞施設利用状況

事業所名		フラワーホーム			フラワーホームユニット			ショートステイ		
月	日数 (日)	日数× 50 人	入居 延べ数	稼働率	日数× 30 名	入居 延べ数	稼働率	日数× 20 名	利用 延べ数	稼働率
4 月	30	1,500	1,499	99.9%	900	900	100%	600	511	85.1%
5 月	31	1,550	1,536	99.0%	930	927	99.6%	620	478	77.0%
6 月	30	1,500	1,489	99.2%	900	899	99.8%	600	442	73.6%
7 月	31	1,550	1,550	100%	930	919	98.8%	620	511	82.4%
8 月	31	1,550	1,549	99.9%	930	929	99.8%	620	525	84.6%
9 月	30	1,500	1,493	99.5%	900	900	100%	600	552	92.0%
10 月	31	1,550	1,544	99.6%	930	918	98.7%	620	543	87.5%
11 月	30	1,500	1,500	100%	900	896	99.5%	600	540	90.0%
12 月	31	1,550	1,538	99.2%	930	930	100%	620	557	89.8%
1 月	31	1,550	1,531	98.7%	930	929	98.9%	620	564	90.9%
2 月	28	1,400	1,397	99.7%	840	831	98.9%	560	517	92.3%
3 月	31	1,550	1,550	100%	930	926	99.5%	620	523	84.3%
合計	365	18,250	18,176	99.5%	10,950	10,904	99.5%	7,300	6,263	85.7%

* 小数第 2 位以下切り捨て

＜３＞介護度の状況

(平成 29 年 3 月 31 日現在)

性別	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	計	平均介護度
男	0	0	1	8	10	19	4.47
女	0	0	6	25	30	61	4.39
計	0	0	7	33	40	80	4.41

＜４＞要介護認定更新の推移

	年齢	性別	前回介護度	今回介護度	結果
フラワーホーム	68 歳	女性	4	4	維持
	93 歳	女性	5	5	維持
	92 歳	女性	5	5	維持
	87 歳	女性	4	4	維持
	89 歳	男性	4	4	維持
	77 歳	女性	4	4	維持
	94 歳	女性	5	5	維持
	102 歳	女性	4	5	進行
	87 歳	男性	5	5	維持
	82 歳	女性	5	4	改善
	93 歳	女性	4	4	維持
	83 歳	女性	5	5	維持
	91 歳	女性	5	5	維持
	89 歳	女性	5	5	維持
	88 歳	女性	5	5	維持
	84 歳	女性	4	4	維持
	86 歳	女性	5	4	改善
	84 歳	女性	4	5	進行
	85 歳	男性	5	5	維持
	79 歳	女性	5	5	維持
	91 歳	女性	4	4	維持
	96 歳	女性	4	4	維持
	79 歳	男性	4	5	進行
	93 歳	女性	5	5	維持
	80 歳	女性	5	5	維持
	96 歳	女性	5	5	維持
	93 歳	女性	5	5	維持
ユニット	93 歳	女性	5	5	維持
	80 歳	女性	4	3	改善
	100 歳	女性	5	4	改善
	93 歳	女性	3	4	進行
	88 歳	女性	4	4	維持
	68 歳	女性	5	5	維持
	77 歳	女性	5	5	維持
	74 歳	女性	4	4	維持
	87 歳	女性	3	5	進行
	75 歳	男性	4	5	進行

	91 歳	女性	5	5	維持
	84 歳	女性	3	3	維持
	74 歳	女性	3	3	維持
	89 歳	女性	5	4	改善
	96 歳	男性	4	3	改善
	93 歳	女性	3	4	進行
	88 歳	男性	4	4	維持
	84 歳	女性	3	4	進行
	87 歳	女性	3	4	進行
	介護度維持		介護度進行	介護度改善	改善率
フラワーホーム	22 名		3 名	2 名	7%
フラワーホームユニット	9 名		6 名	4 名	21%
合 計	31 名		9 名	6 名	13%

*平成 28 年度、介護保険更新認定 80 名中 46 名の結果

< 5 > 退所状況

	年齢	性別	退所日	退所理由
フラワーホーム	91 歳	女性	平成 28 年 4 月 24 日	死亡
	81 歳	男性	平成 28 年 5 月 15 日	死亡
	98 歳	女性	平成 28 年 10 月 25 日	死亡
	80 歳	女性	平成 28 年 10 月 27 日	死亡
	96 歳	女性	平成 29 年 1 月 17 日	死亡
	92 歳	女性	平成 29 年 1 月 21 日	死亡
	88 歳	女性	平成 29 年 2 月 7 日	死亡
	96 歳	女性	平成 29 年 2 月 20 日	死亡
ユニット	73 歳	男性	平成 28 年 4 月 15 日	死亡
	76 歳	女性	平成 28 年 5 月 28 日	死亡
	86 歳	男性	平成 28 年 6 月 8 日	死亡
	94 歳	女性	平成 28 年 6 月 9 日	死亡
	92 歳	男性	平成 28 年 7 月 13 日	死亡
	94 歳	男性	平成 28 年 10 月 8 日	死亡
	100 歳	女性	平成 28 年 10 月 21 日	死亡
	96 歳	女性	平成 28 年 11 月 10 日	死亡
	91 歳	女性	平成 28 年 11 月 20 日	死亡
	92 歳	男性	平成 29 年 1 月 7 日	死亡
	96 歳	女性	平成 29 年 2 月 10 日	死亡
	88 歳	男性	平成 29 年 2 月 11 日	死亡
	86 歳	女性	平成 29 年 2 月 18 日	死亡
	93 歳	男性	平成 29 年 2 月 25 日	死亡
	84 歳	男性	平成 29 年 3 月 9 日	死亡
	退所者数		看取り介護数	施設看取り率
フラワーホーム	8 名		7 名	87%
フラワーホームユニット	15 名		15 名	100%
合 計	23 名		22 名	95%

<6>事故の状況

(種別)

転倒	転落	服薬ミス	皮膚剥離	打撲	窒息	その他
38	21	8	38	7		21

(発生場所)

食堂・ホール	居室	浴室	トイレ	廊下	屋外	その他
31	74	11	8	1	1	9

(発生時間帯)

深夜 0:00~4:00	早朝 4:00~8:00	午前 8:00~12:00	午後 12:00~16:00	夕方 16:00~20:00	夜間 20:00~0:00
16	21	37	28	23	11

(重大事故)

対象者	事故種別	事故概要
88歳 女性 (多床室)	転倒	夕食後、部屋を訪ねるとベッドサイドに右側臥位に倒れていた。翌朝、大腿部から膝部にかけて腫れており嘱託医の指示で整形外科受診。右膝上骨折の診断。家族には説明しお詫びをした。保険者へ連絡。
90歳 男性 (多床室)	転倒	ブザーが鳴ったため振り返ると車椅子から立ち上がり歩き出そうとしていた。駆け寄ったが間に合わず転倒。翌日右足に腫れがあり嘱託医の指示で整形外科受診。右大腿骨頸部骨折の診断。家族へは説明と謝罪を行い、医療費負担をした。保険者に連絡。

<7>苦情・相談・意見について

申し出人	意見概要	対応
入居者家族	物盗られ妄想に対して、相談を受けケアの方針を一緒に決めた。しかし、その後どうなったかの報告がない。	報告がなかったことをお詫びし、事後の報告をさせていただいた。お詫びと報告を受け入れてもらいご理解もらった。
ショート利用者家族	面会に来た時に認知症の利用者が靴をテーブルに載せたので、スタッフに伝えたが取り合ってもらえなかった。	対応が不適切だったことをお詫びし、当該職員に改めて指導をすることを約束し、ご理解もらった。
ショート利用者家族	看護師のインシュリン注射がお願いした手順でされていない。基本的なことが	不安な思いをさせてしまったことをお詫びし、看護職員間でインシュリン注

	できていないので不安である。	射の手順についてもう一度確認をした。
入居者家族	頻繁に面会に来ているはずだが、別の知り合いが面会に来た時に、職員に面会の頻度を尋ねたようで、あまり来ていないと報告をしたようだ。	不快な思いをさせてしまったことをお詫びし、今後はそのようなことがないように約束をし、ご理解もらった。

< 8 > 職員数

(平成 29 年 3 月 31 日現在)

施設長	事務員	生活相談員	介護職員	看護職員	介護支援専門員	機能訓練指導員	障害者支援員	栄養士	管理栄養士	歯科衛生士	調理員	企画室	総務
1	5	1	51 (13)	6 (1)	4	2	1	4		2 (2)	3 (3)	2	6 (6)

* () 書きは、非常勤職員数を再掲

* 介護職員 51 名中「介護福祉士」有資格者 42 名

* 看護職員 6 名中「看護師」3 名「准看護師」3 名

* 栄養士 4 名中「管理栄養士」2 名「栄養士」2 名

* 総務は洗濯、清掃、送迎業務に従事、総務員 6 名中 2 名は障害者雇用

< 9 > 入職者数

年代 職種	10 代	20 代	30 代	40 代	50 代	60 代	計
介護職員	0	0	1	0	1	0	2
うち介護福祉士	0	0	1	0	0	0	1
機能訓練指導員	0	0	1	0	0	0	1
調理員	1	0	1	0	0	0	2
歯科衛生士	0	0	0	0	0	0	0
計	1	1	4	0	1	0	6

< 10 > 退職者数

性別／年代	在職期間	職種
女性 40 代前半	3 年 4 ヶ月	介護職員（非常勤）
女性 50 代後半	1 年 4 ヶ月	介護職員（正社員）
男性 30 代後半	2 年 2 ヶ月	介護職員（正社員）

男性 30 代後半	5 年 8 ヶ月	介護職員（正社員）
女性 30 代後半	3 年 11 ヶ月	介護職員（非常勤）
女性 50 代前半	5 年 0 ヶ月	障害者支援員（正社員）
女性 50 代前半	4 年 0 ヶ月	看護職員（正社員）
女性 30 代後半	5 年 1 ヶ月	調理員（非常勤）

*介護職員の平成 28 年度離職率 5.8% （平成 28 年 4 月 1 日在職者 51 人を分母）

平成 28 年度 事業報告

フラワーホームデイサービスセンター

【総合的な目標の総括】

（地域に出ていき関わりをもつ）

地域の町内会や自治会を把握し、崎森・石原・論地・玉利・竹子の 5 自治公民館や利用者に連絡をとり敬老会の日程を確認し、利用者の参加を募った。日程が合わないケースや、様々な理由で参加することができず、自分で行くことができる利用者を除いて 1 名の方のみが参加できた。前もって利用者・家族に意向を確認し行きたい気持ちの確認や公民館側との連絡を 2 人行いましたが、利用者の気持ちが途中で変わり、1 名のみの参加であったが、各自治会にこのように動いている事を知ってもらえたのではないかと感じる。また、利用者の方々の意見も行きたい利用者よりは、行ってもおもしろくないとの意見もあり、来年度は利用者の方の地域とのつながりがどれほどあるのか、また、その意欲の向上が図れるのかを調べ実施していく必要がある。

（家族に対して積極的に関わりをもつ）

5 月と 11 月に参加し、17 家族 19 名、8 家族 9 名の参加にて家族会を開催した。5 月は 28 年度の目標や行事を発表し、茶話会方式で家族の日頃の悩みを聞きデイでの様子を伝えた。11 月はさらにプロジェクターで写真を使用することで、利用者が楽しんで頑張っているところを伝える事ができた。茶話会では家族同士で悩みを相談したり、励まし合うなどの場面もあり、職員にとっても非常に良い経験となり引き続き来年度も行っていく予定である。また 11/7（月）～11/12（土）に文化祭の展示等を行いご家族の方々にもデイの見学の案内文を配布した。1 家族のみの参加であった。展示物を行う事で、利用者の創作意欲が向上し、達成感が生まれ来年度も行事計画に反映していく予定である。

（デイサービス便りを発行していく）

年 4 回の発行を予定していたが、1 回しか発行できなかった。理由としては、個人情報の使用について全家族の了承を得るのに時間を要したためだが、かなり遅い発行となった。なかには、写真の掲載を断られる方も多く、今後も個人情報保護に留意し計画的に発行していく予定である。

【利用者ケア・職員教育・人材確保】

サービスの質の向上のため、ケアサービス会議にて入浴、送迎、利用者の余暇の時間の過ごし方を検討し実行できることを行った。夕方の掃除に週 5 回、清掃員が来ることで、時間に余裕が持て、終礼も早く終えることが出来た。

【収益的活動】

昨年の実績・予算を達成している。しかし下半期予算割れが続いた。原因としては利用者の体調不良によるキャンセルの増加や、中重度者ケア体制加算の取得を行わなかった点が挙げられる。中重度者ケア体制加算は10月から算定予定だったが、職員・利用者の人員不足により今後も算定しない予定である。認知症加算は6月から算定開始し、一ヶ月10万円程の収益を上げた。個別機能訓練加算Ⅱは、現状での職員配置での実施困難、加算取得後の利用者の区分支給限度基準額を超える利用者がでてくることでデイ利用回数や他サービスの利用に支障がでると懸念し今後も算定しない予定である。

【支出的活動】

身障トイレ2つ増築予定、個浴や個室の設置を検討していたが、行えなかった。

【地域貢献活動】

偶数月の第一月曜、始業開始45分前に行う事を決めたが、朝の時間帯に職員が集まるのが困難だったため、6月より夕方の時間帯に行った。

4月：朝ゴミ拾い 6月：夕方清掃作業 8月：朝駐車場草むしり、歩道清掃
10月：夕歩道草払い 駐車場の草集め 12月：全職員による清掃作業

平成28年度 月別介護度別利用実績一覧表

フラワーホームデイサービスセンター

延べ利用者数

単位 : 人

	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
4 月	53	116	227	198	124	39		757
5 月	54	147	222	203	104	44		774
6 月	51	146	225	186	97	40		745
7 月	46	133	219	205	128	48	1	780
8 月	49	137	239	196	136	40		797
9 月	45	124	220	188	143	42		762
10月	32	131	223	200	151	40		777
11月	31	125	166	235	111	57		725
12月	27	109	187	204	98	52	9	686
1 月	32	110	191	184	113	75	2	707
2 月	28	103	178	168	98	64	4	643
3 月	33	134	215	194	112	45		733
合計	481	1515	2512	2361	1415	586	16	8886

実利用者数

単位 : 人

	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
4 月	13	18	24	20	10	5		90
5 月	13	19	25	23	10	5		95
6 月	12	20	25	22	9	6		94
7 月	11	18	25	22	11	7	1	95
8 月	11	19	23	21	11	7		92
9 月	11	17	23	22	13	5		91
10月	8	19	22	22	15	5		91
11月	8	17	18	24	12	7		86
12月	7	15	18	24	11	6	1	82
1 月	7	16	20	21	11	7	1	83
2 月	8	16	19	19	10	6	1	79
3 月	8	17	23	20	10	4		82
合計	117	211	265	260	133	70	4	1060

平成28年度 行事及び研修実績表

フラワーホームデイサービスセンター

月	行事	日	内部研修	日	外部研修	日	来園者
4	さくら見物（ホーム駐車場） ゲートボール 身体を動かそう 苗物買い カレンダー書き・体力測定	1 8 25	リーダー会議 ケアサービス会議 在宅部門職員研修会	15	生活相談員スキルアップ 研修（一ノ宮）	1	実習生（ニチイ）
5	お菓子作り テーブルレクリエーション 介護者教室 カレンダー書き・体力測定	9 10 25	ケアサービス会議 リーダー会議 在宅部門職員研修会	29	全国の集いin鹿児島 （福山）	18 27	溝辺中職場体験 ボランティア（花鵬会）
6	口の健康週間 球技大会 演芸 カレンダー書き・体力測定	10 10 24	リーダー会議 ケアサービス会議 在宅部門職員研修会			13 14 15 18 23 24	ボランティア（笑顔） ボランティア（涼栄会） ボランティア（華宝会） ボランティア（フレンド会） 実習生（龍桜高校） 実習生（龍桜高校）
7	七夕作り そうめん流し（竹仙峡） 自由工作 夏祭り カレンダー書き・体力測定	8 12 25	ケアサービス会議 リーダー会議 在宅部門職員研修会	14 15	集団指導（一ノ宮） 高齢者福祉研究会	11～ 14	実習生（龍桜高校1年） 実習生（龍桜高校1年） 実習生（龍桜高校1年） 実習生（龍桜高校1年）
8	買い物行事 盆団子作り 文化祭に向かって カレンダー書き・体力測定	10 10 25	リーダー会議 ケアサービス会議 在宅部門職員研修会				
9	ぶどう狩り 十五夜 敬老会 体を動かそう カレンダー書き・体力測定	9 12 26	ケアサービス会議 リーダー会議 在宅部門職員研修会	6	全国の集いin北海道2015 鹿児島ブレ大会 （救仁郷）	12 13 14 22	ボランティア（みすず会） ボランティア（藤若流） ボランティア（秋月様） ボランティア（花鵬会）
10	テーブルレクリエーション 運動会 秋の音楽会 カレンダー書き・体力測定	10 10 25	リーダー会議 ケアサービス会議 在宅部門職員研修会	17 18	認知症介護実践者研修		
11	文化祭に向かって 文化祭 ミステリーツアー カレンダー書き・体力測定	10 10 25	リーダー会議 ケアサービス会議 在宅部門職員研修会	18	看護師研修会（救仁郷）		
12	絵手紙 忘年会 買い物行事 カレンダー書き・体力測定 ゆく年くる年	9 12 26	リーダー会議 ケアサービス会議 在宅部門職員研修会	8	総合事業説明会 （山下・一ノ宮）	5 7 8 9 10 15	ボランティア（笑顔） ボランティア（藤若流） ボランティア（涼栄会） ボランティア（みすず会） ボランティア（秋月様） ボランティア（花鵬会）
1	初笑い・正月遊び 神宮参拝 新春グラウンドゴルフ大会 カレンダー書き・体力測定	10 10 26	ケアサービス会議 リーダー会議 在宅部門職員研修会	20 17 18	高齢者福祉研究会 アクティビティと生活リ ハ （救仁郷）		
2	節分・豆まき 茶話会 テーブルレクリエーション カレンダー書き・体力測定	10 10 24 28	リーダー会議 ケアサービス会議 在宅職員研修会 目標発表会	2 3	地域支援事業研修会 （一ノ宮）		
3	ひな祭り 春のお楽しみ週間 春のお楽しみ週間 カレンダー書き・体力測定	10 13 24	ケアサービス会議 リーダー会議 在宅職員研修会	16		7 13 15 16 19 28	ボランティア（秋月様） ボランティア（なかよし会） ボランティア（藤若流） ボランティア（涼栄会） ボランティア（笑顔） ボランティア（花鵬会）

＜１＞登録利用者状況

	介護	支援	元気アップ	計
４月	59	31	9	99
５月	60	32	9	101
６月	61	32	8	101
７月	64	29	8	101
８月	61	30	8	99
９月	62	27	8	97
10月	62	27	8	97
11月	61	25	8	94
12月	60	22	8	90
１月	60	23	7	90
２月	55	24	7	86
３月	57	25	7	89

＜２＞曜日別・月別平均利用者数（定員 40 名）

	月	火	水	木	金	土	日
４月	32	26	30	29	29	31	7
５月	33	29	28	30	31	29	5
６月	31	30	27	30	30	28	5
７月	31	31	30	29	29	30	6
８月	30	29	29	30	31	30	6
９月	31	30	29	28	32	30	6
10月	32	29	30	28	32	30	5
11月	29	25	29	27	32	27	6
12月	29	23	28	22	30	24	5
１月	28	25	29	27	31	24	6
２月	29	28	30	23	31	21	6
３月	28	29	29	24	31	23	8
平均	30	28	29	27	31	27	6

少数点第一を四捨五入

＜３＞介護度の状況

(平成 29 年 3 月 31 日現在)

性別	ﾌｯﾌﾟ	支 1	支 2	介 1	介 2	介 3	介 4	介 5	計
男	0	1	0	4	3	5	0	0	13
女	7	7	17	19	17	5	4	0	76
計	7	8	17	23	20	10	4	0	89

＜４＞利用者年代別状況

(平成 29 年 3 月 31 日現在)

60 代	70 代	80 代	90 代
2	14	51	22

＜５＞介護度別平均年齢状況

(平成 29 年 3 月 31 日現在)

性別	ﾌｯﾌﾟ	支 1	支 2	介 1	介 2	介 3	介 4	介 5	平均
全	80.5	87.3	85.8	85.3	85.7	81.9	82.7	0	84.1
男	0	88	0	84.5	79	82	0	0	83.3
女	80.5	87.2	85.8	85.5	86.8	81.8	82.7	0	84.3
最高齢 97 歳 若年齢 63 歳									

＜６＞要介護認定更新の推移

年齢	性別	前回介護度	今回介護度	結果
88 歳	女性	1	2	進行
91 歳	女性	3	1	改善
88 歳	女性	支援 2	支援 2	維持
95 歳	女性	2	2	維持
80 歳	女性	1	1	維持
91 歳	女性	2	2	維持
97 歳	女性	3	3	維持
84 歳	女性	2	2	維持
95 歳	女性	支援 2	支援 2	維持
83 歳	女性	2	支援 1	改善
88 歳	女性	支援 1	1	進行
84 歳	女性	1	1	維持
86 歳	女性	1	1	維持
88 歳	男性	支援 1	支援 1	維持
86 歳	女性	支援 1	支援 1	維持
84 歳	男性	支援 1	支援 1	維持
90 歳	男性	支援 2	支援 2	維持
83 歳	男性	2	4	進行
83 歳	女性	支援 2	支援 2	維持

86 歳	男性	1	1	維持
85 歳	女性	4	4	維持
83 歳	女性	4	4	維持
85 歳	女性	支援 2	支援 2	維持
85 歳	女性	支援 2	1	進行
87 歳	男性	1	1	維持
94 歳	男性	2	2	維持
81 歳	女性	アップ	支援 2	進行
87 歳	女性	1	1	維持
82 歳	男性	3	3	維持
79 歳	男性	3	3	維持
90 歳	男性	1	1	維持
94 歳	女性	1	1	維持
86 歳	女性	支援 1	支援 1	維持
94 歳	女性	支援 1	支援 2	進行
82 歳	女性	支援 2	支援 2	進行
85 歳	男性	2	2	維持
82 歳	女性	1	1	維持
81 歳	女性	支援 2	支援 2	維持
81 歳	女性	2	2	維持
83 歳	女性	4	3	改善
92 歳	女性	支援 2	支援 2	維持
93 歳	女性	支援 1	支援 1	維持
91 歳	女性	支援 1	支援 1	維持
90 歳	女性	1	2	進行
82 歳	男性	2	3	進行
81 歳	男性	1	1	維持
76 歳	女性	4	4	維持
76 歳	女性	支援 2	支援 2	維持
77 歳	女性	1	1	維持
83 歳	女性	支援 1	支援 1	維持
94 歳	女性	2	2	維持
84 歳	女性	1	支援 2	改善
79 歳	男性	1	1	維持
88 歳	男性	3	3	維持
88 歳	女性	1	1	維持
83 歳	男性	支援 1	2	進行
95 歳	女性	支援 2	2	進行
89 歳	女性	2	2	維持
89 歳	女性	支援 2	支援 2	維持
88 歳	女性	1	1	維持
87 歳	女性	1	1	維持
82 歳	女性	3	3	維持
92 歳	女性	2	2	維持

91 歳	女性	2	2	維持
73 歳	女性	1	2	進行
85 歳	女性	1	2	進行
95 歳	女性	2	3	進行
83 歳	女性	2	2	維持
63 歳	女性	2	3	進行
88 歳	男性	3	5	進行
82 歳	女性	1	1	維持
89 歳	女性	1	1	維持
75 歳	女性	支援 2	支援 2	維持
88 歳	女性	4	3	改善
81 歳	女性	支援 2	1	進行
87 歳	女性	2	3	進行
84 歳	男性	3	3	維持
91 歳	女性	支援 2	支援 2	維持
83 歳	女性	3	3	維持
94 歳	女性	2	2	維持
86 歳	女性	1	1	維持
84 歳	女性	2	4	進行
90 歳	男性	1	1	維持
94 歳	女性	アップ	支援 2	進行
86 歳	女性	支援 2	1	進行
79 歳	男性	支援 2	支援 1	改善
92 歳	女性	2	2	維持
97 歳	女性	2	2	維持
93 歳	女性	支援 1	支援 1	維持
79 歳	女性	支援 1	支援 1	維持
95 歳	女性	2	2	維持
89 歳	男性	3	3	維持
91 歳	女性	2	1	改善
80 歳	女性	2	2	維持
79 歳	女性	2	2	維持
93 歳	女性	3	3	維持
89 歳	女性	3	2	改善
85 歳	女性	支援 2	支援 2	維持
85 歳	女性	支援 2	支援 2	維持
80 歳	女性	1	3	進行
91 歳	女性	1	1	維持
92 歳	女性	2	2	維持
87 歳	女性	2	2	維持
83 歳	男性	2	1	改善
84 歳	女性	2	2	維持
87 歳	女性	1	1	維持
83 歳	女性	支援 1	支援 2	進行

85 歳	女性	アップ	1	進行
78 歳	女性	アップ	支援 1	進行
介護度維持 75 名		介護度進行 25 名	介護度改善 9 名	改善率 8%

* 平成 28 年度、介護保険更新認定 109 名の結果

< 7 > ヒヤリハットの状況

(種別)

意識低下 消失	離設	嘔吐	つまずき ふらつき	危険予測	与薬
2	1	1	0	0	1

失物品	送迎ミス	送迎車	閉じ込め	利用者の行為
0	1	1	0	0

(発生場所)

ホール	和室	浴室	脱衣場	トイレ	洗面所	車内	玄関	屋外	その他
3	0	1	0	0	0	1	0	2	0

(発生時間帯)

朝迎え時 8 : 30 ~ 9 : 30	午前中 9 : 30 ~ 12 : 00	午後 12 : 00 ~ 15 : 45	夕送り時 15 : 45 ~ 16 : 45
0	7	0	0

< 8 > 事故の状況

(種別)

転倒・転落	外傷	皮膚剥離	打撲	その他
13	0	1	0	1

(発生場所)

食堂ホール	浴室	脱衣場	トイレ	車内
4	0	0	2	0
玄関	自宅	静養ベッド	屋外	和室
0	1	1	2	4

(発生時間帯)

朝迎え時 8：30～9：30	午前中 9：30～12：00	午後 12：00～15：45	夕送り時 15：45～16：45
2	6	5	1

< 9 > 車両事故

物損（謝罪）	物損（補償）	自車のみ	対向車
0	1	1	0

< 10 > 苦情・相談・意見について

申し出人	意見概要	対応
地域住民	利用者の送迎時に畑に停めてある車をどかして下さいと言われた。まわって下さいと伝えたが、このやりとりを何度もしており、以前に車をぶつけられた事もある。他の道が通れない時は、どけたりもするが、車をどかして下さいと今までも何度と言われる。指導をして欲しいと電話で受け付けた。	直接話を伺う。申し出人は利用者の状況も理解し、車の停車位置も配慮してくれていた。今後は事業所、申し出人共に融通を利かせ通行するという事でご理解もらった。

< 11 > 職員数

(平成 29 年 3 月 31 日現在)

管理者	生活相談員	介護職員	看護職員	機能訓練指導員
1	1	6 (1)	3	1

* () 書きは、非常勤職員数を再掲

* 介護職員 6 名中「介護福祉士」有資格者 5 名

* 看護職員 3 名中「看護師」1 名「准看護師」2 名

* 機能訓練指導員は理学療法士 1 名

< 1 2 > 入職者数

職種 \ 年代	20 代	30 代	40 代	50 代	60 代	計
介護職員	0	0	0	0	0	0
計	0	0	0	0	0	0

< 1 3 > 退職者数

性別／年代	在職期間	職種
女性 30 代後半	3 年 0 ヶ月	介護職員（正社員）

平成 28 年度 事業報告

フラワーホームホームヘルプサービス

【総合的な目標】

独居の利用者が多いので、話を傾聴しながら不安や心配事等がないか聴き、出来る限りで助言をすることで不安の軽減につながるよう心がけ、安心して生活できるよう努めた。

【利用者ケア・職員教育・人材確保】

毎月 1 回、ヘルパーミーティング時に計画に沿って研修（勉強会）を実施した。管理栄養士による調理実習などすぐに現場で活用できるものでありスタッフにも好評だった。外部の研修（腎臓病食の実習研修）に参加したスタッフから実演してもらい、意見交換も行い、実際に生かせる内容だった。今後も継続して実施していこうと考えている。

【収益的活動】

体調を崩したり、長期入院になる利用者が例年より多くいた。食中毒や熱中症（脱水）、感染症など勉強会ではもちろん、予防を徹底していけるように状態観察、声かけ等行っていこうと考えている。

【支出的活動】

在庫の確認を行い、用紙の裏などリサイクルできるものは再利用した。

【地域貢献活動】

地域の関係者に連絡および遠方にいる家族への電話連絡等行った。利用者への声かけやカレンダーやメモ書きをして分かりやすいようにした。今後も地域の住民として地域行事に参加できるよう支援していく。

平成28年度 月別介護度別利用実績一覧表

フラワーホームホームヘルプサービス

延べ利用者数

単位 : 人

	要支援 1	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	合計
4 月	17	35	169	375	143	22	3	764
5 月	22	44	193	378	118	16	1	772
6 月	25	47	191	363	112	16	4	758
7 月	9	50	199	340	151	12	4	765
8 月	25	60	179	358	147	17	2	788
9 月	41	75	179	362	148	20	1	826
10 月	34	91	174	339	158	20	2	818
11 月	32	82	162	358	121	40	1	796
12 月	27	81	176	367	124	51	0	826
1 月	34	74	162	329	122	65	0	786
2 月	41	70	154	304	110	60	0	739
3 月	49	72	146	352	122	61	0	802
合計	356	781	2084	4225	1576	400	18	9440

実利用者数

単位 : 人

	要支援 1	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	合計
4 月	3	6	13	22	6	3	1	54
5 月	4	6	14	23	5	2	1	55
6 月	5	6	14	23	5	2	1	56
7 月	2	6	15	20	6	1	2	52
8 月	5	7	14	21	6	2	1	56
9 月	6	8	14	22	6	2	1	59
10 月	6	9	15	20	7	2	1	60
11 月	6	10	14	22	6	3	1	62
12 月	4	9	14	23	5	3	0	58
1 月	5	10	11	22	5	3	0	56
2 月	7	10	12	21	5	3	0	58
3 月	7	8	12	22	5	2	0	56
合計	60	95	162	261	67	28	9	682

平成28年度 行事及び研修実績表

フラワーホームフラワーホームヘルプサービス

月	日	研修項目	研修内容	外部研修	参加者
4	12	ヘルパーミーティング			
	26	運営方針倫理規定について			
5	10	接遇について	マナー、言葉使い	県ホームヘルパー協議会 総会及び第1回研修会 (5/24)	樋口、飯田
	31	ヘルパーミーティング			
6	14	食中毒について	食中毒の種類・症状など (講師：上船管理栄養士)		
	28	ヘルパーミーティング			
7	19	ヘルパーミーティング			
	26	調理のしかた	酢の物（実習） (講師：上船管理栄養士)		
8	9	熱中症・脱水について	症状について 摂取のしかたなど		
	23	ヘルパーミーティング			
9	6	ヘルパーミーティング			
	20	事故防止について	転倒の予防 移乗のしかた		
10	11	ヘルパーミーティング			
	25	プライバシーについて	個人情報の扱い方		
11	15	感染症およびまん延防止	かからないための予防		
	29	ヘルパーミーティング			
12	13	認知症について	症状・対応について		
	27	ヘルパーミーティング			
1	10	ヘルパーミーティング			
	24	緊急時対応について	手順、その時の 対応について		
2	14	ヘルパーミーティング		平成28年度介護予防従事者 専門研修会 (2/15, 16)	樋口
	28	虐待・身体拘束 について	高齢者虐待の例		
3	14	ヘルパーミーティング		鹿児島県ヘルパー協議会第3回 調理に関する講義と実習 (3/7)	上床・澁谷
	28	来年度の計画について			

平成 28 年度 事業報告

フラワーホーム居宅介護支援事業所

【総合的な目標の総括】

本人の意思や生き方を尊重していくマネジメントを心がけたが、利用者の多くは認知症を伴うため家族の意向に対しての支援に比重が高くなる傾向もある。しかし介護保険の目的である自立支援に向けて総合的なマネジメントが実施できるよう努力している。また様々な困難事例も多く（独居・ターミナル・貧困・虐待）事業所全職員で相談しながら対応した。医療関係者・他のサービス事業所の協力により、より効率的なサービス提供に繋がっている。

【利用者ケア・職員教育・人材確保】

利用者、家族からの情報収集や信頼関係はできてきているが地域からの情報収集が不足している例もあった。必要な外部研修には参加し居宅内で勉強会や意見交換を実施しているが計画的な内部研修が不十分だった。

【収益的活動】

新規の契約が59件と多かったが入院や入所、死亡にて契約終了になった方も40名あり実質の件数は伸びていない状況である。また新規の利用者の中には要支援認定や介護認定であってもサービス利用を希望しない方もいる。より有効的な介護サービス利用が行えるよう働きかけが必要と感じている。特定事業所加算を取得する為に、主任ケアマネの研修に参加して2名が主任ケアマネを取得した。平成29年度の加算取得に向けての準備ができた。

【支出的活動】

経費削減を行って無駄な経費を削減した。必要な鍵付きキャビネットを購入して個人情報に留意した環境整備ができています。

【地域貢献活動】

笑顔での接遇に心がけて適切な相談業務を行っていますがさらなる相談援助技術を磨く必要がある。地域の清掃活動には交替で参加している。

平成28年度 月別介護度別利用実績一覧表

フラワーホーム居宅介護支援事業所

実利用者数

単位 : 人

	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
4月	2	5	40	37	20	9	2	115
5月	2	6	40	38	20	7	2	115
6月	2	5	38	39	19	10	2	115
7月	2	5	38	35	18	12	4	114
8月	2	7	36	38	16	13	4	116
9月	2	7	37	37	17	12	3	115
10月	3	9	39	37	19	15	2	124
11月	3	10	39	38	17	15	1	123
12月	3	9	41	37	18	12	2	122
1月	4	10	42	32	19	12	3	122
2月	5	11	41	29	18	12	3	119
3月	5	11	45	31	16	9	2	119
合計	35	95	476	428	217	138	30	1419

年度別

単位 : 人

	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
25年度	33	61	376	412	225	104	67	1278
26年度	48	47	480	394	260	133	39	1401
27年度	41	51	542	417	273	118	38	1480
28年度	35	95	476	428	217	138	30	1419
合計	157	254	1874	1651	975	493	174	5578

年齢別

単位 : 人

	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
～74男				1	1		1	6
女	1	1			1			
75～79男		1	3	5	1			18
女	1		4	2		1		
80～84男		1	6	2	3	1		35
女	1	3	7	8	2	1		
85～89男		1	2	1		1		31
女	1	1	14	3	4	2	1	
90～94男		2	2		1	1		25
女	1	1	6	8	2	1		
95～男			1					4
女				1	1	1		
合計	5	11	45	31	16	9	2	119

平成28年度 会議・活動・研修 実績表

フラワーホーム居宅介護支援事業所

月	日	内部研修・会議	外部研修	その他
4	15 21 25	在宅部門職員研修会	高齢者福祉研究会 在宅医療介護福祉研修会	
5	4 24	事業所情報連絡会 在宅部門職員研修会		
6	1 8 24	事業所情報連絡会 在宅部門職員研修会		地域奉仕活動
7	13 15 25	在宅部門職員研修会	県「集団指導」 高齢者福祉研究会	
8	4 5 9 16 26	事業所情報連絡会 在宅部門職員研修会	霧島市介護支援専門員研修	地域奉仕活動 永山こうじ歌謡ショー
9	9 18 19 26	事業所情報連絡会 在宅部門職員研修会	全国の集い in 鹿児島2016 全国の集い in 鹿児島2016	
10	21 25	在宅部門職員研修会	高齢者福祉研究会	
11	24 25	DST会議 在宅部門職員研修会		主任ケアマネ研修（2日間）
12	14 19 26	事業所情報連絡会 在宅部門職員研修会	霧島市介護予防・日常生活支援 総合事業説明会	主任ケアマネ研修（5日間）
1	11 12 19 20 25	事業所情報連絡会 在宅部門職員研修会	認知症サポーター養成講座 包括「第2回介護支援専門員研修」 高齢者福祉研究会	主任ケアマネ研修（5日間）
2	3 8 24	事業所情報連絡会 在宅部門職員研修会	始良伊佐地域振興局「始良伊佐 地域隊員支援づくりの協議」	
3	7 8 24	DST会議 事業所情報連絡会 在宅部門職員研修会		

平成 28 年度 事業報告

地域包括支援センター溝辺支所

【総合的な目標の総括】

総合相談については主に介護保険の相談が多く、新規申請が 43 件あった。非該当者が 3 件、介護度の方は 28 件あり居宅支援事業所との連携を図った。認定を受けるのみで利用等の無い方は、定期訪問にて状態把握を行うなど継続支援している。支援が必要である状況にあっても、支援を拒否している困難事例や虐待については、各関係機関と地域ケア会議を重ね解決できている方や、支援継続の方も存在する。新しい地域支援事業について細かな詳細は年度をはさんだこともあり、地域への周知が進んでいない状況である。

【利用者ケア・職員教育・人材確保】

困難事例対象者の中には、行政や居宅等と連携しサービスに繋げる事が出来た方もいたが、未解決のまま他界された方や、まだ支援方法が確立できないでいる方もいる。職員教育については、制度等の情報を互いに共有し知識を深めるなど努めたが、不十分であるため今後も実践を重ねスキルを磨いていく。

【収益的活動】

平成 19 年度より継続してきた総合プログラム事業は、28 年度で終了となるが霧島市の中でも参加人数不足で開催できない地域もある中、28 年度も 17 名の参加にて継続開催を行うことができた。

【支出的活動】

新しい地域支援事業についてのパンフレット資料を作成し、住所地の自治公民館にて説明を行った。権利擁護については本所と連携し事業所での研修を行った。

【地域貢献活動】

必要に応じ、市外の行政や関係機関と連携を図り、地域ケア会議にて高齢者の権利を擁護した。金銭的理由での困難者に対し、行政、居宅、地域の方のボランティアの力を借り居室等の清掃を行った事例もあった。

平28年度 行事及び研修実績表

地域包括支援センター溝辺支所

月	日	行事	日	内部研修	日	外部研修
4	5・15・22	包括業務連絡協議会 地域ケア会議	1 1 25	リーダー会議 居宅ミーティング 在宅部門職員研修会		
5	6 13 10 16 20 26	包括業務連絡協議会 権利擁護部会 理事会 主任ケアマネ指導力強化事業 地域ケア会議 県包括・在介協議会総会	4 10 25	事業所連絡会 リーダー会議 在宅部門職員研修会		
6	6 15 5 17 28	包括業務連絡協議会 運営推進会議GHみぞべ 包括業務連絡協議会 地域ケア会議 権利擁護部会	10 25	リーダー会議 在宅部門職員研修会		
7	4・22 5 9 13 21	地域ケア会議 包括業務連絡協議会 霧島市家族介護者交流会 包括支所部会 地域支援事業エリア会議	25	在宅部門職員研修会		
8	5 19 19 29	包括業務連絡協議会 地域ケア会議 権利擁護部会 生活支援体制整備会議	4 10 25	事業所連絡会 リーダー会議 在宅部門職員研修会		
9	16・26	地域ケア会議	7 9 12 26	事業所連絡会 居宅ミーティング リーダー会議 在宅部門職員研修会	21	包括・在介職員研修
10	5 13 14 19・24	包括業務連絡協議会 生活支援体制整備事業溝辺 権利擁護部会 地域ケア会議	12	事業所連絡会	25	虐待対応現任研修27迄
11	4・25 9・24 25	包括業務連絡協議会 生活支援体制整備事業溝辺 地域ケア会議	25	在宅部門職員研修会		
12	5・19 6 8・12 9	包括業務連絡協議会 霧島市家族介護者交流会 生活支援体制整備事業溝辺 地域ケア会議	14 26	事業所連絡会 在宅部門職員研修会		
1	5・19 11 17 19 20・27	包括業務連絡協議会 総合プログラム事業開始 生活支援体制整備事業溝辺 包括主催ケアマネ研修 地域ケア会議	10 20 25 26	リーダー会議 高齢者福祉研究会 在宅部門職員研修会 ハープの会		
2	6・28 14 23 24	包括業務連絡協議会 地域ケア会議 生活支援体制整備事業溝辺 始良市合同地域ケア会議	1 9 24	居宅ミーティング リーダー会議 在宅部門職員研修会	17	包括・在介職員研修
3	6・27 13 22 23 24 30	包括業務連絡協議会 始良市合同地域ケア会議 運営推進会議GHみぞべ 生活支援体制整備事業溝辺 権利擁護部会 理事会	24	在宅部門職員研修会		

平成 28 年度 事業報告

デイサービス 白梅

【総合的な目標の総括】

利用者の希望を取り入れながらレクリエーション活動を実施することが出来た。利用者に応じた身体ケアの提供は十分に行えたが、自宅での生活を意識した継続したケア、地域に暮らす人へのケアという点では不十分な部分や、悩みながら進んできた部分も多くあった。

【利用者ケア・職員教育・人材確保】

書籍などを参考にして認知症予防や下肢筋力維持のためのプログラムを取り入れ利用者が楽しく参加できるようにした。取り組む職員もそれぞれに工夫や改善がみられるようになり前年度より充実していた。認知症実践者研修に 2 名参加することができたが、認知症の理解という点では職員間にばらつきもあり、共通した理解のもとケアを行うという面では不十分であった。

【収益的活動】

利用者の連続した休み、入院、ショートステイの長期利用によって収益が減少してしまった。利用者の状態がどの様に経過するのか、また本人や家族の意向など確認し、必要によっては早期に新規利用者を確保する状況が作れなかった。

【支出的活動】

必要性を見極めて備品等の購入が行え、利用者満足にもつながっていると考ええる。給食費支出や燃料費においては増加の傾向にあった為、職員全体で予算を意識した行動が日々行えるように計画していく。

【地域貢献活動】

具体的計画に基づいて実践したが、継続ができなかったものや、地域のニーズを十分考慮しないまま白梅主導で考えてしまった面があり、満足のいく結果にならなかった。

平成28年度 月別介護度別利用実績一覧表

デイサービス 白梅

延べ利用者数

単位 : 人

	要支援 1	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	合計
4 月	11	3	84	72	34	12	0	216
5 月	8	9	84	67	35	8	0	211
6 月	9	8	83	73	32	13	0	218
7 月	6	8	96	76	34	13	0	233
8 月	9	9	86	79	36	14	0	233
9 月	11	9	83	75	35	8	0	221
10月	9	8	76	81	31	8	0	213
11月	7	9	84	68	33	14	0	215
12月	9	9	71	58	33	16	0	196
1 月	15	16	78	54	31	0	0	194
2 月	15	13	84	42	27	0	0	181
3 月	12	18	112	62	29	0	0	233
合計	121	119	1021	807	390	106	0	2564

実利用者数

単位 : 人

	要支援 1	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	合計
4 月	3	1	9	8	2	1	0	24
5 月	2	1	9	7	2	1	0	22
6 月	2	1	9	7	2	1	0	22
7 月	2	1	10	8	2	1	0	24
8 月	2	1	9	9	2	1	0	24
9 月	3	1	9	8	2	1	0	24
10月	3	1	8	8	3	1	0	24
11月	2	1	9	8	2	2	0	24
12月	2	1	9	7	2	2	0	23
1 月	3	2	10	7	2	0	0	24
2 月	3	2	10	7	2	0	0	24
3 月	2	2	13	9	2	0	0	28
合計	29	15	114	93	25	11	0	287

平成28年度 行事及び研修実績表

デイサービス 白梅

月	日	行事	内部研修	外部研修	来園者
4		花見（桜、藤、芝桜等） 昼食作り 体力測定 わらび、筍採り、菜園 外気浴、近隣散歩 折り紙、カレンダー作り	1 リーダー会議 13 事業所情報連絡会 15 高齢者福祉研究会 27 職員研修会		
5		あくまき、かからん団子 らっきょ漬 ゲートボール 昼食・おやつ作り 菜園、苗物買い 外出（藤・バラ園他） 折り紙、カレンダー作り	4 事業所情報連絡会 10 リーダー会議 11 運営推進会議 20 地域交流会 27 職員研修会 30 家族交流会	認知症実践者研修（岩元）	溝辺中学校職場体験 2名2日間
6		からいも植え 絵手紙 ぼた餅、バイキング 歌詞カード・七夕作り 外出（ソーメン、向日葵） 室内ゲーム カレンダー	1 事業所情報連絡会 10 リーダー会議 18 地域交流会 24 職員研修会	認知症実践者研修（岩元） 30 集団指導（霧島市）	龍桜高校看護学科実習 2名2日間
7		味噌・めんつゆ作り ピーナツ豆腐作り 菜園、野菜収穫 朝顔の壁紙作り 七夕 外出（ソーメン・買い物） 室内ゲーム カレンダー	7 事業所情報連絡会 12 リーダー会議 15 高齢者福祉研究会 19 家族交流会 25 地域交流会 29 職員研修会	14 集団指導（田平） 25 地域交流会	介護相談員 2名 龍桜高校介護福祉学科 実習2名
8		夏祭り（ゲーム、かき氷） 白梅オリンピック（室内） 昼食作り セラバン体操 菜園 栗拾い 外出（遺跡神社他） ノ葡萄飾り カレンダー	4 事業所情報連絡会 10 リーダー会議 23 地域交流会 26 職員研修会	16 介護支援専門員研修会 （岩元）	パワーアップ研修 陵南小教諭1名 加治木看護専門学校 ↑ 実習7名（5日間） ↓ 9月初旬にかけて
9		ぶどう狩り、栗拾い 敬老会、買い物・外食行事 案山子、彼岸花ドライブ 書道・硬筆、ドリル 佃煮作り、カレンダー書き	7 事業所情報連絡会 12 リーダー会議 14 地域交流会 28 運営推進会議 30 職員研修会		
10		文化祭作品作り、外気浴 柿収穫、栗のお菓子作り 外出（城山、コスモス他） 輪投げ、風船バレー 脳トレ、カレンダー書き	11 リーダー会議 12 事業所情報連絡会 21 高齢者福祉研究会 28 職員研修会	認知症実践者研修（田平） 19 相談員研修（川原）	介護職員初任者研修 2名
11		芋掘り 干し柿・大根 外出（菊、紅葉狩り他） 味噌作り 室内ゲーム リース作り 手洗い講習 カレンダー書き	2 リーダー会議 9 事業所情報連絡会 28 職員研修会	認知症実践者研修（田平）	介護相談員 2名
12		干し柿・大根作り そば 芋版年賀状作り 菜園、チューリップ植え 白梅忘年会 クリスマス カレンダー書き	12 リーダー会議 14 事業所情報連絡会 22 DSTミーティング 23 職員研修会	19 総合事業説明会	
1		正月遊び 外出神宮参拝 ちぎり絵 カードゲーム 慰問ボランティア 漬物作り 近隣散歩 カレンダー書き	10 リーダー会議 11 事業所情報連絡会 12 認知症サポーター講座 19・26 DSTミーティング 20 運営推進会議		大正琴ボランティア2名 手品等ボランティア5名

			高齢者福祉研究会 25 職員研修会		
2		豆まき節分行事 太巻き 外出行事（蒲生大楠他） お手玉計算ゲーム 脳トレ 手作りお菓子 歌詞本作り カレンダー	9 リーダー会議 14 DSTミーティング 24 職員研修会		
3		桜の壁絵作り ひな祭り ぼた餅、餃子作り 菜園 高菜漬け 宝探し大会 慰問ボランティア カレンダー書き	7 DSTミーティング 8 事業所情報連絡会 13 リーダー会議 22 職員研修会		大正琴ボランティア2名 手品等ボランティア5名

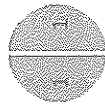
平成28年度 事故報告書集計(ダイヤース白梅)

事故種別	
転倒・転落	2
与薬	1

单位:件

事故発生場所	
機能訓練室	
玄関	1
屋外(送迎含む)	
トイレ	1
浴室	

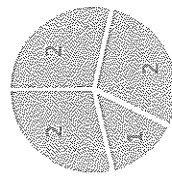
單位:件



機能訓練室 玄関
屋外（送迎含む） トイレ
浴室

事故原因(重複あり)	
環境因子	2
利用者因子	2
確認不足	1
注意不足	2

单位:件



環境因子 利用者因子 確認不足 注意不足

平成 28 年度 事業報告

小規模多機能ホームふもとの家

【総合的な目標の総括】

利用者が住み慣れた自宅や地域で生活が出来るように、家族の協力を得ながら実践してきたが、金銭的な理由や家族介護者などの理由により施設への入所となったケースもあった。長期で泊りが必要な利用者については週 1 回、数時間でも家族と一緒に自宅で過ごすことが出来るように家族の協力を得ることが出来た。

【利用者ケア・職員教育・人材確保】

石峯地区の生きがいづくり事業へ参加するように計画をしていたが、当日に大雨が降り、また利用者の体調不良などもあり参加が出来なかった。しかし、利用者の「～したい」の希望を聞き、考えることで、墓参り支援や地区の敬老会、外出活動などの活動を行うことが出来た。

職員教育については、ファーストステップ研修や毎月行っている職員研修会でライフサポートワーカーに来てもらい、ライフサポートについて皆で学ぶ機会を持つことができ、質の向上に繋げることが出来た。

職員確保については、4 名の退職者がいたことと、2 件の交通事故にて一時期、人員不足もあったが、他事行所から応援をもらい事業を行った。

【収益的活動】

一時的ではあったが、登録定員 29 名を達成することができ、予定していた予算を達成することが出来た。しかし、利用者の入院などもあり常に定員を一杯にすることが出来なかった。

【支出的活動】

職員間で協力しながら無駄な物を購入していないか、無駄な電気や水道を使用していないか、声を掛け合いながら節約に努めることが出来たと思う。

【地域貢献活動】

溝辺町一斉の美化作業にて事業所のある石峯地区の清掃に参加出来る職員は参加をし、地域の方と一緒に実施をした。また、運営推進会議の中から地域の困りごととして「買い物が不便」とのことで、A コープの移動販売車にふもとの家に毎週来てもらうことで、地域の方々の買い物に役立ててもらえるように働きかけ、1 月より移動販売車に来てもらうことが出来た。しかし、まだまだ利用される地域の方が少ない為、今後、周知を図りたいと思う。

平成28年度 月別介護度別利用実績一覧表

小規模多機能ホームふもとの家

延べ利用者数

単位 : 人

	要支援 1	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	合計
4 月	90	30	140	173	148	90	0	671
5 月	92	28	146	194	170	93	0	723
6 月	90	30	139	180	191	90	0	720
7 月	116	31	130	154	189	124	0	744
8 月	98	30	181	92	166	123	31	721
9 月	119	30	170	90	148	120	30	707
10月	122	31	169	105	162	93	31	713
11月	118	30	167	97	181	97	30	720
12月	119	30	166	120	196	120	31	782
1 月	90	30	152	183	179	31	62	727
2 月	79	27	110	174	165	56	56	667
3 月	91	31	117	199	163	62	62	725
合計	1224	358	1787	1761	2058	1099	333	8620

実利用者数

単位 : 人

	要支援 1	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	合計
4 月	3	1	6	6	6	3	0	25
5 月	3	1	6	7	6	3	0	26
6 月	3	1	6	6	7	3	0	26
7 月	4	1	7	5	7	4	0	28
8 月	4	1	8	3	7	4	1	28
9 月	4	1	8	3	6	4	1	27
10月	4	1	8	4	6	3	1	27
11月	4	1	8	4	7	4	1	29
12月	4	1	7	5	7	4	1	29
1 月	3	1	7	7	7	1	2	28
2 月	3	1	5	7	7	2	2	27
3 月	4	1	5	7	7	2	2	28
合計	43	12	81	64	80	37	11	328

平成28年度 行事及び研修実績表

小規模多機能ホームふもとの家

月	日	行事	内部研修	外部研修	来園者
4	2 12 19 22 24 28	花見(丸岡公園) ドライブ(温泉、外食) 野草の天ぷら作り 藤祭り 味噌作り お茶ったもんせ	4/25 小規模多機能について	霧島市地域密着型サービス事業所連合会定期総会(野崎)	
5	1 11 15 17 24 26	ドライブ(がらっぱ公園) 花見(三縄のバラ) 石峯地区一斉美化作業 照明保育園児とあく巻き作り あく巻き作り お茶ったもんせ	5/25 利用者の実践的理解展開に関する研修	NPO仕モグアを支える診療所市民全国ネットワーク「いきいきライフセミナー」(水迫)	照明保育園児
6	1 6 7 8 15 23	いなり寿司作り かからん団子作り ドライブ(アジサイロード) 魚釣り(横川の川) 餃子作り お茶ったもんせ	6/24 認知症及び認知症ケアについて	霧島市「平成28年度地域密着型サービス事業者等集団指導」(野崎)	
7	5 14 19 25 28 31	照明保育園児と七夕作り 貼り絵、灯籠の絵 入院利用者へのお見舞い 外出活動(カラオケ) お茶ったもんせ ふもとの家夏祭り	7/25 基本的な介護技術の方法やチームワークの大切さに関する研修	霧島市消防局「甲種防火管理新規講習」(野崎) 県老協「ファーストステップ研修」(森)7/1~1/13までの内14日間	照明保育園児 夏祭り時に地域の方が多数
8	9 13 15 17 19 25 30 31	フワ〜ホームへミニコンサート 墓参り支援 夏野菜の炭火焼き 手作りそうめん流し ドライブ(さつま町) お茶ったもんせ そうめん流し バーベキュー	8/25 利用者のケースミティング	霧島市地域包括ケアライブラリーサポートワーカー養成研修(野崎)8/5~12/2までの内、8日間	
9	5 15 16 25 26 30	そうめん流し(竹川狭) 十五夜の団子作り ドライブ(山田のかかし) 敬老会及び家族会 ボランティアによるレクリエーション 味噌作り、避難訓練	9/23 倫理及び法令遵守に関する研修	全国の集いin鹿児島2016(野崎)	
10	7 16 17 24 27	外出活動(温泉、外食) ドライブ(コスモス見学) ドライブ(赤そば) グランドゴルフ お茶ったもんせ	10/25 介護記録の書き方に関する研修(ライブラリーワーカーによる研修)	認知症介護実践者研修(四野)10/4~11/29までの内、6日間	介護相談員2名
11	2 4 5 6 22 24	ドライブ(城山公園) 柿ちぎり ほぜ祭り 山芋掘り からいもこっば作り お茶ったもんせ	11/25 非常災害時の対応に関する研修		運動推進員によるボランティア
12	11 12 22 23 26 31	農作業 島唄コンサート お茶ったもんせ 門松作り 照明保育園児と餅つき そば打ち	12/26 リスクマネジメントに関する研修	県老協「人材育成とメンタルヘルス研修会(森)」	照明保育園児
1	13 17 26 28	ボランティアによるレクリエーション みかん狩り お茶ったもんせ そば打ち	1/25 身体的拘束等の排除のための取り組みに関する研修		
2	2 8 9	神宮参拝 ドライブ 味噌作り	2/24 緊急時の対応について	県老協「地域支援事業研修会」(野崎)	
3	9 16 23 26	山菜採り 高菜の漬物作り お茶ったもんせ 竹の子掘り	3/24 プライバシー保護の取り組みに関する研修		

平成 28 年度統計資料及び添付資料

< 1 > 利用者の出身市町村別、年齢別の状況

(平成 29 年 3 月 31 日現在の住所地)

出身地	年齢	性	65 歳 ～ 69 歳	70 歳 ～ 74 歳	75 歳 ～ 79 歳	80 歳 ～ 84 歳	85 歳 ～ 89 歳	90 歳 ～ 94 歳	95 歳 ～ 99 歳	100 歳 以上	計	合計				
		別														
溝辺町	男		1	0	2	2	0	1	0	0	6	20				
	女		0	2	2	0	5	4	1	0	14					
隼人町	男		0	0	0	1	2	0	0	0	3	6				
	女		0	0	1	0	1	1	0	0	3					
横川町	男		0	0	0	0	0	0	0	0	0	2				
	女		0	0	0	0	1	0	1	0	2					
計			1	2	5	3	9	6	2	0	28					
平均年齢			84.4 歳			最高年齢			96 歳 1 月			最少年齢		68 歳 1 月		
男 性			82.6 歳			男 性			92 歳 1 月			男 性			68 歳 1 月	
女 性			86.1 歳			女 性			96 歳 1 月			女 性			71 歳 4 月	

＜２＞施設利用状況

事業所名		ふもとの家	
月	登録定員	登録者数	稼働率
４月	29	25	86%
５月	29	26	89%
６月	29	26	89%
７月	29	28	96%
８月	29	28	96%
９月	29	27	93%
10月	29	27	93%
11月	29	29	100%
12月	29	29	100%
１月	29	28	96%
２月	29	27	93%
３月	29	28	96%
合計	348	328	94%

* 小数第２位以下切り捨て

＜３＞介護度の状況

(平成 29 年 3 月 31 日現在)

性別	要支援 1	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	計	平均介護 度
男	3	0	1	4	1	0	0	9	1.45
女	1	1	4	3	6	2	2	19	2.47
計	4	1	5	7	7	2	2	28	1.96

＜４＞契約解除状況

	年齢	性別	退所日	退所理由
ふもとの家	86 歳	男性	平成 28 年 4 月 16 日	死亡
	84 歳	女性	平成 28 年 6 月 29 日	入院
	80 歳	女性	平成 28 年 8 月 12 日	死亡
	92 歳	女性	平成 28 年 9 月 30 日	ショート入所
	89 歳	男性	平成 29 年 1 月 17 日	入院
	94 歳	女性	平成 29 年 3 月 14 日	入所
		退所者数		看取り件数
ふもとの家		6		1

＜５＞新規利用者状況

	介護度	年齢	性別	登録日
ふもとの家	介護 3	93 歳	女性	平成 28 年 5 月 3 日
	介護 2	80 歳	女性	平成 28 年 5 月 23 日
	介護 1	76 歳	男性	平成 28 年 7 月 6 日
	支援 1	83 歳	男性	平成 28 年 7 月 9 日
	介護 1	78 歳	男性	平成 28 年 7 月 14 日
	介護 2	90 歳	女性	平成 28 年 10 月 20 日
	介護 4	88 歳	女性	平成 28 年 11 月 24 日
	支援 2	87 歳	男性	平成 29 年 3 月 24 日

＜６＞事故の状況

(種別)

転倒	転落	服薬ミス	皮膚剥離	打撲	誤嚥	離園
17		4	2		1	1

(発生場所)

食堂・ホール	居室	浴室	トイレ	廊下	屋外	その他
13	8		1	1	2	

(発生時間帯)

深夜帯 0：00～4：00	早朝帯 4：00～8：00	午前中 8：00～12：00	午後 12：00～16：00	夕方 16：00～20：00	夜間 20：00～0：00
2	5	3	5	8	2

(重大事故)

対象者	事故種別	事故概要
83 歳 女性	転倒	同敷地内にある高齢者住宅へ朝、訪問すると自室にて転倒。すぐに主治医へ連絡。医療センターへ緊急搬送し左大腿部頸部骨折と のことで入院。保険者へ報告する
87 歳 女性	転倒	昼食後、ご自分で食器を下げようと立ち上った際に転倒。主治医 へ連絡し往診。整形外科受診し胸椎、腰椎の骨折の診断。泊りに て対応。保険者へ報告する。

<7>苦情・相談・意見について

申し出人	意見概要	対応
利用者家族	夏祭りの時、本人と家族と一緒に舞台を 見ることが出来なかった。日中の暑い時 になぜ行った。	誤解を招く言動や言葉があった為、自宅 を訪ね謝罪を行う。

<8>職員数

(平成 29 年 3 月 31 日現在)

管理者	計 画 作 成 担 当 者	看 護 職 員	介 護 職 員
1	1	1	12 (6)

* () 書きは、非常勤職員数を再掲

*介護職員 12 名中「介護福祉士」有資格者 7 名

*看護職員 1 名中「准看護師」1 名

*管理者と計画作成担当者は兼務

平成 28 年度 事業報告

隠居長屋ろんち

【基本方針の総括】

長屋の入居者同士が支え合い助け合って、身体が不自由になっても、認知症になっても住み慣れた地域での暮らしが継続できるよう、関係者と連携を図り支援した。

【努力目標に対する達成度、成果】

(1) 入居者同士が助け合いながら生活できるよう支援する

【 お互い声掛けや見守りを行い、変化時は関係者に連絡を貰う事ができた。 】

(2) 地域のひろば事業を通して地域との交流を図る

【 毎週土曜日に地域のひろば事業に参加された方と一緒に、お茶を飲みながら談笑し、
昼食を楽しんでもらえた。 】

(3) 入居者が安心・安全に生活できるよう環境整備を行う

【 入居者が安心して生活できるよう室内外の整備に努めた。 】

(4) 季節に応じた郷土料理を職員、入居者、地域住民と一緒に作り伝承する

【 季節に応じた郷土料理を入居者や地域住民に教わりながら作り、ノートに書き留め
記録した。 】

平成28年度 行事及び研修実績表

隠居長屋ろんち

月	日	行事	参加者
4	2	調理：ちらし寿司、のり汁、酢味噌和え、よもぎ団子、漬物	30名
	9	調理：山菜のてんぷら、味噌汁、酢味噌和え、高菜の漬物、からいも飴、味噌作り	24名
	16	調理：天ぷらそば、漬物	24名
	23	調理：竹の子御飯、野菜サラダ、きびなご煮付け、高菜の漬物	26名
	30	調理：鶏の煮込み、ちまき作り	26名
5	7	調理：牛すじ煮込み、なます、漬物	28名
	14	調理：きびなごの南蛮漬け、つけあげ、味噌汁	25名
	21	調理：ぶり大根、イカ刺身	26名
	28	調理：ポテトコロッケ、ソラマメの天ぷら、ラッキョウの天ぷら	23名
6	4	調理：ソーメン汁、野菜炒め、かからん団子、けせん団子、サネン団子、イサッ団子	28名
	11	調理：牛すじカレー	33名
	18	調理：揚げ豆腐と野菜の盛り合わせ、そば団子	21名
	25	調理：鶏の骨の煮込み、ところてん	27名
7	2	調理：手打ちうどん、おにぎり、漬物	47名
	9	調理：夏野菜の天ぷら、ソーメン、ちらし寿司	39名
	16	調理：牛すじカレー、野菜サラダ	38名
	23	調理：野菜天丼、味噌汁、ゴーヤチャンプル	37名
	30	調理：ガネ、味噌汁、サネン団子	39名
8	6	調理：煮魚、酢の物	44名
	13	調理：ソーメン汁、白和え、きゅうりの酢の物	32名
	20	調理：さば缶の煮込み、漬物	48名
	27	調理：夏野菜の素揚げ、栗御飯、味噌汁	39名
9	3	調理：ちらし寿司、炒め物、ソーメン汁	12名
	10	調理：冬瓜の煮物、ピーナツ豆腐	40名
	17	調理：魚のアラ煮、おはぎ、きゅうりの酢の物	38名
	24	調理：鶏ゴボウの煮物、栗御飯、里芋の田楽、蒸しかぼちゃ	38名
10	1	調理：揚げ魚の南蛮漬け、ガネ、味噌汁	50名
	8	調理：赤飯、大根の煮込み、ガネ、小松菜の漬物	41名
	15	調理：芋煮、白和え、酢の物、天ぷら	52名
	22	調理：さばの味噌煮、ガネ、大根なます	46名
	29	調理：手作りがんもどき、味噌汁、小松菜のおひたし	42名
11	5	ほぜ祭り：豚汁、焼きそば、甘酒、こんにゃく	150名
	12	調理：大根とイカの煮物、ガネ	38名
	19	調理：牛すじカレー、しいたけの天ぷら、そまん団子	42名
	26	調理：おでん、大根の漬物	52名
12	3	調理：かねん粉汁（だんご汁）、漬物、大根菜の胡麻和え	48名
	10	調理：カレー、野菜の盛り合わせ、そばがき、からいも飴作り	46名
	17	調理：豚骨煮、漬物	44名
	24	子供たちとの交流：年越しそば、としかさ、ふくれ菓子	68名
1	7	調理：なんかん寿司、漬物、そば団子、焼き芋	56名
	14	調理：芋御飯、鯛のアラ煮、からいも団子	46名
	21	調理：おし大豆煮、黒子豆ぜんざい、ふくれ菓子	39名
	28	調理：味噌煮込み、漬物	40名
2	4	調理：煮込みうどん、漬物、いこ餅	45名
	11	調理：豚汁、里芋コロッケ、サラダ	36名
	18	調理：煮魚、煮物、ガネ	50名
	25	調理：煮物、手作りこんにゃく、漬物、ガネ	48名
3	4	調理：芋きり、酢味噌和え、白和え、そば団子	46名
	11	調理：まぐろのツケ丼、味噌汁、ガネ、そば団子	47名
	18	調理：モツ煮込み、ぼたもち、野菜の盛り合わせ	49名
	25	調理：白和え、味噌汁、サラダ、そば団子、ふくれ菓子	48名

平成 28 年度 事業報告

特別養護老人ホームフラワーホーム診療所

【診療所開設の経緯】

特養ホーム多床室の中に「診療所」がナースセンターの一角に 11.6 m²の面積で設置されています。これは必置義務のある保険診療を行わない診療所であります。この診療所は嘱託医師が管理者の下に診療を行う診療所であり、保険請求は嘱託医が属する徳永医院で医療請求がなされています。

特養ホームに設置されている「診療所」におきまして外来診療及び訪問診療が出来るように、保険診療が出来る診療所として外来専用の診療所を平成 28 年 5 月 1 日より開設をしました。

【診療所開設の目的】

外来診療を始める目的として、霧島市の中でも溝辺町と周辺地域は、高齢女性の独居生活者が多く、この地域は中山間地であり家屋同士が離れており、近所付き合いも難しくなっています。近所に友達も少なく、日常生活で「さみしさ」を訴える人が多く、結果、うつ病や躁うつ病、不安障害の人が増加しています。

高齢化と共に認知症の人も増加しており、「物忘れ外来」をすることにより最近問題となっている軽度認知障害を早期に発見し、認知症予防につなげていきます。

認知症に伴う、心理・行動障害の人や繊毛状態の人の原因を究明し、医療・介護の多職種連携で対応をしてまいります。

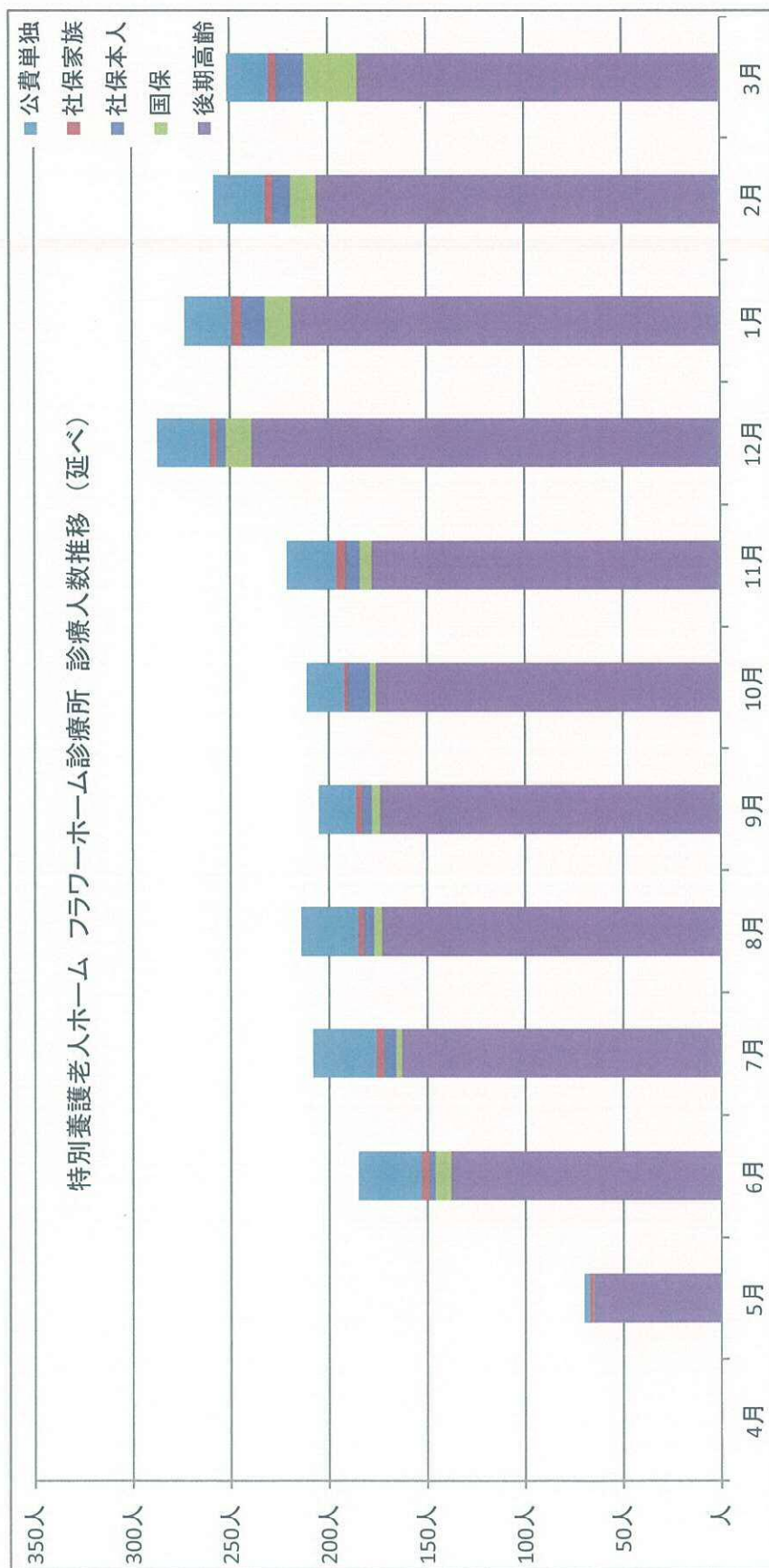
【施設基準について】

九州厚生局及び保健所指導の下に施設基準もクリアしてあります。

- ・ 特養入所者に対する診療所と外来用の診療所は、特養入所者のプライバシーをしっかりと確保すること。（出入口を別にする、ローカを共有できない）
- ・ 看板（案内板）の設置（介護保険事業所との区別をする為）
- ・ 受付窓口の設置
- ・ 手洗い器の設置
- ・ 空調機器の設置

【定款変更について】

定款手続完了・・・社会福祉法人が営む「公益を目的とする事業」の中で事業を行う。



平成28年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
社保本人	0	1	3	6	5	5	11	7	5	12	9	14
社保家族	0	2	4	4	3	3	2	5	3	5	4	4
国保	0	0	8	3	4	4	3	6	13	13	13	27
後期高齢	0	64	138	163	173	174	176	178	239	219	206	185
公費単独	0	3	32	32	29	19	19	25	27	24	26	24
合計	0	70	185	208	214	205	211	221	287	273	258	254